

2021年3月期 決算説明資料

名古屋鉄道株式会社

2021年5月11日

連結損益計算書

() は増減率

(単位：百万円、%)

	2020年度	2019年度	増減	(対前期)	2月公表値	増減
営業収益	481,645	622,916	△ 141,271 (△22.7)	交通 △58,549 レジャーサービス △30,130 流通 △29,265 不動産 △15,466 運送 △9,318 その他 △6,261 航空関連サービス △4,268	477,000	4,645 (1.0)
営業費用	498,000	575,553	△ 77,553	商製品売上原価 △29,916 人件費 △15,765	497,000	1,000
営業利益	△ 16,354	47,363	△ 63,717 (-)	交通 △39,443 レジャーサービス △13,620 不動産 △3,641 運送 △2,992 流通 △2,515 その他 △1,101 航空関連サービス △657	△ 20,000	3,645 (-)
経常利益	△ 8,146	49,288	△ 57,435 (-)	営業外収益 +6,242 営業外費用 △40	△ 13,000	4,853 (-)
特別利益	7,913	9,287	△ 1,374	整理損失引当金戻入額 △4,816 投資有価証券売却益 +1,482	5,500	2,413
特別損失	22,291	11,238	11,053	投資有価証券売却損 +3,327 減損損失 +2,996	15,500	6,791
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 28,769	28,879	△ 57,649 (-)		△ 27,500	△ 1,269 (-)

営業収益 : 【減収】 新型コロナウイルス感染症の影響により全事業で減収。

営業利益 : 【赤字化】 新型コロナウイルス感染症の影響による赤字化。

経常利益 : 【赤字化】 営業赤字による赤字化。

親会社株主に帰属する
当期純利益 : 【赤字化】 経常赤字による赤字化。

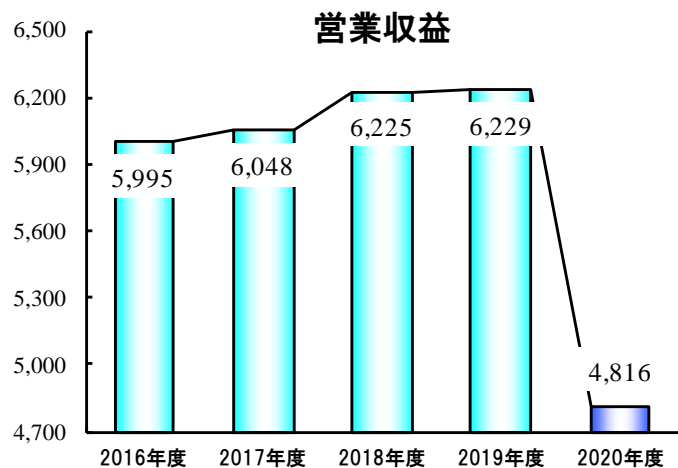
《連結子会社数》 : 109社 (増加 1社) ホテルグランコート名古屋 (新規加入)
(減少 5社) めいてつ企画 (被合併)、東鉄観光 (被合併)、豊鉄ターミナルホテル (清算終了)、
金沢名鉄丸越百貨店 (株式譲渡)、金沢スカイホテル (株式譲渡)

《持分法適用会社数》 : 14社 (減少 1社) 武蔵開発 (株式譲渡)

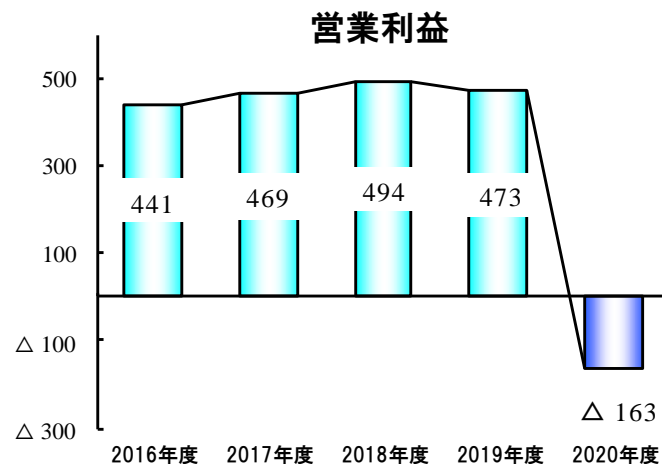


連結業績の推移

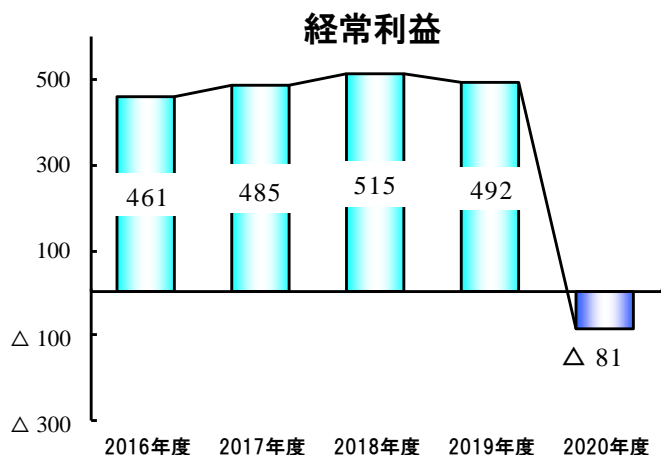
(単位:億円)



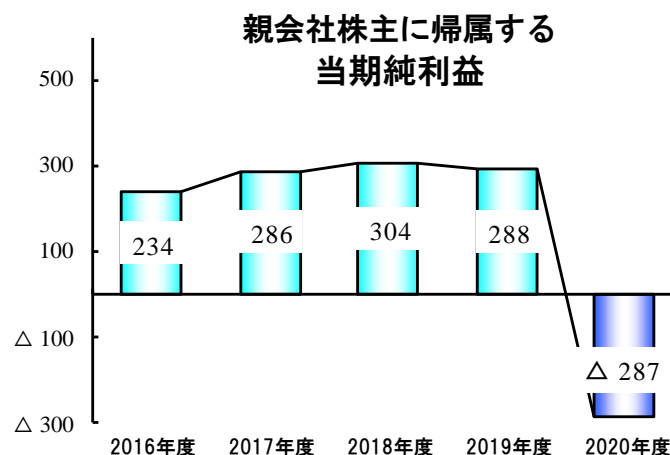
4期ぶり減収



初の赤字



初の赤字



16期ぶり赤字



※ 営業利益・経常利益について、連結財務諸表開示制度を導入した1999年度以降初の赤字

セグメント別営業成績

(単位：百万円、%)

営業収益	2020年度	2019年度	増減額	増減率	コメント
交通事業	104,995	163,544	△ 58,549	△ 35.8	新型コロナウイルス感染症の影響での外出自粛により全事業で減収
運送事業	128,901	138,220	△ 9,318	△ 6.7	新型コロナウイルス感染症の影響での貨物取扱量の減少などにより全事業で減収
不動産事業	85,402	100,869	△ 15,466	△ 15.3	分譲マンション販売の引渡戸数の減少や、賃貸事業における駐車場利用の減少などにより全事業で減収
レジャー・サービス事業	20,007	50,137	△ 30,130	△ 60.1	新型コロナウイルス感染症の影響での観光需要の低下により全事業で減収
流通事業	111,272	140,538	△ 29,265	△ 20.8	新型コロナウイルス感染症の影響での外出自粛や、百貨店業における臨時休業により全事業で減収
航空関連サービス事業	22,983	27,251	△ 4,268	△ 15.7	新型コロナウイルス感染症の影響での機内食事業の受注減少により減収
その他の事業	45,862	52,123	△ 6,261	△ 12.0	新型コロナウイルス感染症の影響での受注減少により減収
調整額	△ 37,779	△ 49,769	11,990	—	
合計	481,645	622,916	△ 141,271	△ 22.7	

営業利益	2020年度	2019年度	増減額	増減率	コメント
交通事業	△ 17,866	21,577	△ 39,443	—	減収による赤字化
運送事業	2,350	5,342	△ 2,992	△ 56.0	減収によりトラック事業は減益、海運事業は赤字化
不動産事業	10,667	14,309	△ 3,641	△ 25.5	減収による減益
レジャー・サービス事業	△ 13,008	611	△ 13,620	—	減収によりホテル業や観光施設事業は赤字化、旅行業は赤字幅拡大
流通事業	△ 2,185	330	△ 2,515	—	減収によりその他物品販売は減益、百貨店業は赤字幅拡大
航空関連サービス事業	1,959	2,616	△ 657	△ 25.1	減収による減益
その他の事業	1,752	2,854	△ 1,101	△ 38.6	減収による減益
調整額	△ 24	△ 279	254	—	
合計	△ 16,354	47,363	△ 63,717	—	

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2020年度末	前期末	増減額	コメント
流動資産	215,097	189,143	25,954	資金調達による現金及び預金の増加
固定資産	976,033	975,836	197	
有形固定資産	831,429	831,771	△ 342	
無形固定資産	9,222	10,002	△ 779	
投資その他の資産	135,382	134,062	1,319	保有上場株式の時価上昇による投資有価証券の増加
資産合計	1,191,131	1,164,979	26,151	
流動負債	281,782	262,787	18,994	1年内償還社債の増加
固定負債	501,836	463,790	38,046	社債の増加
負債合計	783,619	726,577	57,041	
純資産合計	407,512	438,401	△ 30,889	株主資本 △34,550 親会社株主に帰属する当期純利益 △28,769 剰余金の配当 △4,917
負債純資産合計	1,191,131	1,164,979	26,151	
連結有利子負債合計	484,169	423,376	60,792	〔参考〕純有利子負債残高 430,149 (前期末比 +39,475)

個別業績

◆個別損益計算書◆

() は増減率 (単位: 百万円、%)

	2020年度	2019年度	増減	(対前期)	2月公表値	増減
営業収益	78,316	109,742	△31,426 (△28.6)	鉄軌道事業 △31,024 開発事業 △401	80,000	△ 1,683 (△2.1)
営業費用	81,920	87,975	△6,054	人件費 △1,731 電力料 △920	84,000	△ 2,079
営業利益	△ 3,604	21,767	△25,372 (-)		△ 4,000	395 (-)
経常利益	△ 3	26,819	△26,823 (-)	営業外収益 △233 営業外費用 +1,217	△ 1,000	996 (-)
当期純利益	△ 13,130	18,180	△31,311 (-)	特別利益 △1,111 特別損失 +13,369	△ 10,800	△ 2,330 (-)

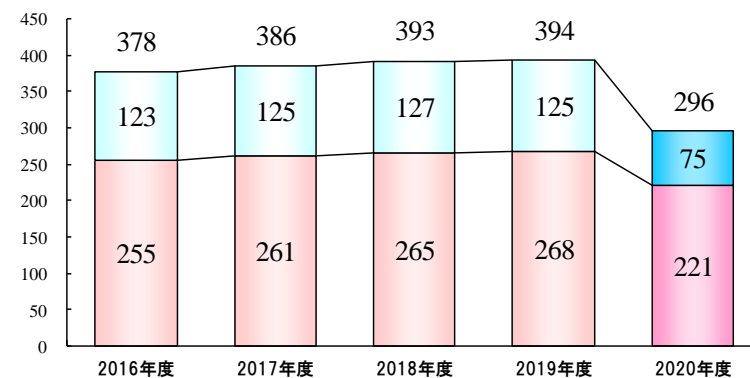
◆名鉄 運輸成績◆

(単位: 百万円、%)				(単位: 千人、%)			
旅客収入	2020年度	2019年度	増減率	輸送人員	2020年度	2019年度	増減率
定期外	26,907	49,845	△46.0	定期外	75,035	125,622	△ 40.3
定期	32,622	40,196	△18.8	定期	221,200	268,530	△ 17.6
計	59,530	90,042	△33.9	計	296,235	394,152	△ 24.8

(注)定期外旅客収入には特別車両料金を含む。

輸送人員の推移

(単位: 百万人) □ 定期 □ 定期外



2022年3月期 連結業績予想

() は増減率

(単位：百万円、%)

	2021年度 予想	2020年度	増減	(対前期)
営業収益	530,000	481,645	48,355 (10.0)	レジャー・サービス +58,293 交通 +27,805 運送 +4,699 不動産 +2,098 その他 +938 流通 △44,872 航空関連サービス △183
営業利益	13,000	△ 16,354	29,354 (—)	交通 +21,366 レジャー・サービス +10,608 運送 +1,750 流通 +1,085 不動産 △3,367 航空関連サービス △1,759 その他 △652
経常利益	16,000	△ 8,146	24,146 (—)	営業外収益 △5,626 営業外費用 △418
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,000	△ 28,769	39,769 (—)	特別利益 +15,087 特別損失 △291
E B I T D A	52,500	22,996	29,504 (128.3)	※EBITDA：営業利益＋減価償却費
設備投資額	65,700	47,937	17,763 (37.1)	
減価償却費	39,500	39,351	149 (0.4)	
純有利子負債	450,000	430,149	19,851 (4.6)	※純有利子負債：有利子負債－現預金・短期有価証券

2021年度予想は、2022年3月に向けて緩やかに新型コロナウイルス感染者数が減少していくと仮定。営業収益は、流通事業で減収を見込むものの、レジャー・サービス事業、交通事業の回復を主因に、全体で増収。営業利益は、増収により黒字となる見通し。経常利益は、営業利益の黒字化により黒字となり、特別損益の改善を見込み、最終の当期純利益は黒字となる見通し。



※2021年度より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっておりますが、連結全体では、これによる影響は軽微です。

2022年3月期 個別業績予想

() は増減率

(単位：百万円、%)

	2021年度 予想	2020年度	増減	コメント
営業収益	92,400	78,316	14,083 (18.0)	鉄軌道事業、開発事業ともに増収
営業利益	6,500	△ 3,604	10,104 (—)	増収により黒字化
経常利益	5,400	△ 3	5,403 (—)	営業黒字化により黒字化
当期純利益	6,300	△ 13,130	19,430 (—)	経常黒字化に加え、特別損益の改善により黒字化

◆ 1株当たり配当金 ◆

(単位：円)

	2022年3月期 予想	2021年3月期
配当金額	12.50	0.00



業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承下さい。